

翻刻

小學修身訓

波號

卷二

修
五
二
号

九
号

T1A1

22

N 84

刻 翻

明治十三年五月 卷貳

小學修身訓

文部省編輯局印行

小學修身訓下

第五 養智

西村茂樹 選錄

○凡事豫スレバ立チ。豫セザレバ廢ル。言前ニ定
 マレバ踏カズ。事前ニ定マレバ困マズ。行前ニ定
 マレバ疚カラズ。道前ニ定マレバ窮マラズ。中庸
 ○君子ハ其位ニ素シテ行フ。其外ヲ願ハズ。富貴
 ニ素シテハ富貴ヲ行ヒ。貧賤ニ素シテハ貧賤ヲ

行ヒ夷狄ニ素シテハ夷狄ヲ行ヒ。患難ニ素シテハ患難ヲ行フ。君子ハ入ルトシテ自得セザルナシ。同上

○愚ニシテ自用ユルヲ好ミ。賤フシテ自專ニスルヲ好ミ。今ノ世ニ生レテ古ノ道ニ反サントス此ノ如キ者ハ裁其身ニ及ブ者ナリ。同上

○多ク聞テ疑ハシキヲ闕キ。慎ンデ其餘ヲ言ヘバ尤寡シ。多ク見テ殆キヲ闕キ。慎ンデ其餘ヲ行ヘバ悔寡シ。論語

○暴虎馮河シ。死シテ悔ユルコトナキ者ハ吾ハ與

波

セザルナリ。必ヤ事ニ臨ンデ懼レ。謀ヲ好ンデ成サン者ナリ。同上

○過キタルハ猶及バザルガ如シ。同上

○天下ノ難事ハ必易キニ作り。天下ノ大事ハ必細キニ作ル。老子

○天ノ未陰雨セザルニ追ビ。彼桑土ヲ徹リテ牖戸ヲ綢繆ス。詩經

○夫人必自侮ツテ後人之ヲ侮リ。家必自毀ツテ後人之ヲ毀チ。國必自伐ツテ後人之ヲ伐ツ。孟子
○命ニ非ルモノ莫シ。順ツテ其正ヲ受ク。是故ニ

命ヲ知ル者ハ巖牆ノ下ニ立タズ。其道ヲ盡シテ死スル者ハ正命ナリ。桎梏シテ死スル者ハ正命ニ非ザルナリ。同上

○其進ムヲ銳キ者ハ其退クヲ速ナリ。同上

○禍福門ナシ。唯人ノ招ク所ナリ。左傳

○千丈ノ堤ハ螻蟻ノ穴ヲ以テ潰ユ。韓非子

○前車ノ覆ヘルハ後車ノ戒ナリ。漢書

○瓜田ニ履ヲ納レズ。李下ニ冠ヲ正サズ。文選

○言ヲ慎ム者ハ安ク。妄談スル者ハ危シ。仁義ハ人ヲ護リ。罪惡ハ人ヲ敗ル。瓊羅門ノ箴言

波

○威饜凡ニ列シテ人ト與ニ争ハンヨリハ一方ノ餅反テ安然トシテ之ヲ食フヲ得ルニ如カズ。位卑フシテ言高キハ。空キニ非ザルナリ。位高フシテ言卑キモ。亦空キニ非ザルナリ。同上

○智者ハ言ヲ聞キテ之ヲ衷ニ藏メ。愚者ハ詞多クシテ害人ニ及ブ。怒ヲ匿シテ友トシ。人ノ惡ヲ播揚スルハ。愚者ノ爲ス所ナリ。同上

○孔子曰ク。由汝ニ之ヲ知ルヲ誨ヘンカ。之ヲ知ルヲ知ルト爲シ。知ラザルヲ知ラズトセヨ。是知レルナリ。論語

○人遠キ慮ナキ片ハ必近キ憂アリ。同上

○巧言ハ徳ヲ亂ル。小ク忍ビザレバ則大謀ヲ亂ル。同上

○天ヲ怨ミズ。人ヲ尤メズ。下學シテ上達ス。我ヲ知ル者ハソレ天平。同上

○積善ノ家ニハ必餘慶アリ。積不善ノ家ニハ必餘殃アリ。周易

○能ヲ以テ不能ニ問ヒ。多キヲ以テ寡キニ問ヒ。有レドモ無キガ若ク。實ツレドモ虚シキガ若ク。犯セドモ校セズ。曾子

汝

○知識見解ハ人ニ自慊ノ心ヲ懷カシメ。極メテ意ニ忤フノ事ニ逢フト雖氏。其快樂ノ真ヲ失フトナカラシム。西國ノ古言

○妬忌ト憤怒トハ。及ツテ已ガ性命ヲ短縮シ。煩慮ハ人ヲシテ常ニ歲月ノ短キヲ覺エシム。同上

○智者ノ後ニ隨ツテ行く者ハ。亦智アルモノト稱スベシ。惡人ト事ヲ共ニスル者ハ。愚人タルトヲ免カレザルベシ。同上

○汝ヲ稱揚スルノ言語ハ。賤ンデ之ヲ却クベシ。何トナレバ。諂諛ハ惡事ノ乳養物ナレバナリ。西國

詩ノ古

○横逆損亡ハ甚。嚴酷ナル教課ナリト雖也。汝才智ヲコ、ニ得ベシ。汝才智ヲ他ニ求ムルトモ得ラルベカラズ。培尼斯ノ詩

○宋ノ范質詩ヲ作リテ其従子杲ヲ曉シテ曰ク。物盛ニナレバ必衰ヘ。隆アレバ還替アリ。速ニ成レバ堅牢ナラズ。亟ニ走レバ多クハ顛躓ス。灼々タル園中ノ花。早ク發ケバ還ツテ先萎ム。溼々タル澗畔ノ松。鬱々トシテ晚翠ヲ含メリ。賦命疾徐アリ。青雲カメテ致シ難シ。語ヲ寄セテ諸郎ニ謝

波

ス。躁進ハ徒爲ノミ。

○物圭角アレバ多クハ人ノ眼目ヲ刺シ。亦玷缺シ易シ。故ニ君子ノ世ニ處ルハ。當ニ渾然天成ナルベシ。然ルキハ人厭忌セズ。揚龜山

○輕シク發言ヲ聽クキハ。安人ノ譖訴ニ非ザルコトヲ知ラン。當ニ忍耐三思スベシ。事ニ因テ相争フキハ。焉我ガ是ニアラザルコトヲ知ラン。須ク平心ニ暗想スベシ。朱ユ

○凡世上ニ於テ惡事ノ增長シ。正理ノ押付ケラル、ヲ見テ。此世界ヲ以テ道德混亂破壊ノ世界

ナリト思フハ。造化ノ法則ヲ知ラザル者ニレテ。此存念ヨリレテ。遂ニ許多ノ謬見妄想ヲ生スルニ至ル者ナリ。弗氏ノ脩身學

○凡の人財祿を得ることを好まざるをなし。是を好まば家業をよく力むべし。又長生を好まざるをなし。是を好まば養生の道をよく務むべし。又善を好まざるをなし。是を好まば學問を勉めて道理を知るべし。大和俗訓

○酒食を過ごせば病を生ずるの本なり。言々慎むざるを禍の本ある。思案せざるは過の本なり。

波

私欲深きハ身を殺むの本なり。怒を堪へざるハ争の本なり。儉約あらざるハ困窮の本なり。此六本去らざるは身と家とを保ち難し。同上

○凡夫の心を頼もしげふし。親と厚けきども變じ易し。今親むと以へども後を保ち難し。人の心を憑くは過つことをなす。同上

○人の譽め毀罵を聞くとよく察まらん。譽る人毀る人智なくして。人の善惡と事の是非を知らず。其上私有りて我氣に合つるを譽め。氣に合はざるを毀む。善惡亂きて人を迷はす。かゝる人

の毀譽ハ必信をばづのらば。同上

○世俗の語を傳ふるは虚言多し。盡信をばづのらば。殊に怪しきと多し。偽をり。神佛の奇特も俗人の語を傳ふるは空事多し。凡正法にハ奇怪をし。奇怪あるハ正法に非ば。虚事を作るを語を傳ふるは世に多し。妄に人の言に任せを語を傳ふづのらば。人の胡亂なることを信ずる又人に語まば。我も亦虚言をいふの罪あり。同上

○我トカヲ角スル者ハ。我精神ヲ強クシ。我練熟ヲ助クル者ナリ。故ニ我ニ敵スル者ハ。我ヲ輔ク

波

ル者ナリ。立志編

○身家邦國ハ。小々ナルモノヲ謹ミ集メタルニ由リテ成リ立タル者ナレバ。小々ナル者ヲ輕ンジ棄ツルコトハ。身家邦國ヲ破ル所以ノ漸ナリ。上
○人有益ニ光陰ヲ用ユルハ其務ナリト雖。亦自ラ休憩歡樂ヲ爲サザルコトヲ得ズ。蓋休憩歡樂ヲ爲スニハ。精神ト身體トヲ憩ヒ。其精力ヲ増シテ新ニ勤勞ヲ爲スコトヲ得ベキヲ旨トスベシ。遊歩運動ハ精神ヲ休憩スルノ最良法トス。善書ヲ讀ミ心ヲ慰ムルハ。身體ヲ休憩スルノ最良法トス。

○凡人類ノ周圍ニ日々起發スル事件ハ浮漚飄雲ノ如ク忽然トシテ飛散スル者ニ非ズ。必再度同様ノ事ノ起ル時ノ對照トナルベキ者ナリ。是則造物者が天下ノ人ニ其經驗ヲ教示スル所以ノ者ニシテ。教示ノ書籍ハ現ニ世人ノ目前ニ在リ。希氏ノ脩身學

○災厄禍難ニ逢ヒタル時。惟悲歎スルノミニテ。之ヲ驅逐センコトヲ欲セザル者ハ懦弱ノ人ナリ。汝モシ災難ニ逢フコトアラバ。剛膽ヲ張り之ニ抵

波

抗シテ持堪ユベシ。汝が災難ノ爲ニ淹没セララルマデニハ。許多ノ時日アルベケレバ。其間ニ必救援ヲ得ル時機アルベシ。少年寶

○心の器狭き人ハ我智一を用ひて萬の事に通じと思ひ。人の智を用ひば。古語に自用ゆきば小ありといへり。我智一を恃てて人の智を用ひざるべし。世間の萬事我一人にて知り難し。知らざる事多けきべし。小智といふべし。心の器廣き人ハ我一人の智を用ひば。廣く人に問ひ聞て。其善を取用ゆ。故衆人の智を合せ我智とす。是大智とすべし。大和俗訓

○吉事を祝ひ凶事を忌むハ人情なるを。正月五節
供の俗節と元服嫁娶を祝ひ。死亡を忌むるべ
きを。然もども愚人ハ吉凶につまを甚拘るを。祝
ひ過し忌過ごし事ニ害なるを。天命を知らざし
て福を求め禍を遁さんとする私心よ起まり。
是も禍福の理を知らざし愚に迷へるあり。神
佛に妄に詣ひ祈るを福を求むるも亦同じ。家道訓
○世に交するを勢を知るべし。勢強きハ我
に理あるても勝つたし。勝つたきを知らば争ひ
難らるべし。さきども時めける勢ある人に従ひ

放

て屈するハ諂ふるなるを。初學訓

○家屋中ノ諸事ヲ行フ上ニ於テ。婦人ハ聰明才
智ナカルベカラズ。聰明才智ハ婦人ヲシテ有用
ナラシメ。勢力ヲ助ケ。其ヲシテ事ニ先ッテ思慮ス
ルヲ解セシメ。不意ニ生ズル事ヲ豫メ思量備具
スルヲ能クシ。家中ノ事ヲ辨理スル善法ヲ見出
シ。又何事ヲ做スニモ力量アラシムルナリ。品行論
○豫メ後日ニ備フル裁度ノ智ハ。事務ヲ行フ上
ニ要用ナルヲ。婦人ニ於テモ亦男子ト異ナルヲ
ナシ。裁度ノ智ハ智識ヲ實事ニ用ユルモノニシ

テ。判斷ノ習熟セシモノナリ。是ニ由テ百事ヲ行
フニ適宜ナルヲ得。當然ナルヲ得ルナリ。同上

波

第六 處事

○物本末アリ。事終始アリ。先後スル所ヲ知レバ
則道ニ近シ。大學

○速ナランコヲ欲スル無カレ。小利ヲ見ルコ無
カレ。速ナランコヲ欲スレバ達セズ。小利ヲ見レ
バ大事成ラズ。論語

○成事ハ説カズ。遂事ハ諫メズ。既往ハ咎メズ。同
○居處恭シク事ヲ執リテ敬ミ。人ト與ニシテ忠
ナルコハ。夷狄ニ之クト雖氏棄ツベカラザルナ
リ。同上

○齊人言フコアリ。曰ク。知慧アリト雖氏勢ニ乗ルニ如カズ。鑑基アリト雖氏時ヲ待ツニ如カズ。
孟子

○事ヲ企ツル前ニ先其利害如何ヲ考フベシ。事ヲ為ス前ニ先其利害如何ヲ考フベシ。西國ノ古言

○人固ヨリ望ヲ掛ケ事ヲ務メテ其成就スルコトヲ忍耐シテ待ツベシ。然レ氏常ニ快樂ノ心ヲ失フベカラズ。蓋快樂ノ心ハ事ヲ做スニ絶好ノ本資ナリ。立志編

○凡職務ニ任ズル人ハ其事ヲ敬慎スベク。精細

波

ナルベク。規則ニ従フベク。敏捷ナルベク。期限ヲ守ルベク。之ニ加フルニ靈變ノ智アルベキヲ要ス。是天授ト雖氏亦學習慣練ニ由リテ生ジ得ラ

ルベシ。同上
○今日一難事ヲ行ヒ。明日一難事ヲ行ヒ。久シケ

シハ則自然ニ堅固ナリ。呂氏童蒙訓
○宋范仲淹少フシテ大節アリ。其為ス所アルハ必其方ヲ盡クシテ曰ク。コレヲ為スコト我ヨリスル者ハ。當ニ是ノ如クスベシ。其成ルト否ラザルトハ。我ニ在ラザル者アリ。聖賢ト雖氏必トスルコト

能ハズ。吾豈苟モセンヤ。

○凡事機ノ來ルハ。航海ニ風便ト潮候トヲ得タルガ如シ。此ノ如キ機會ニ逢ハズ。勇敢ナルベシ。剛毅ナルベシ。決斷スベシ。必疑惑怯懦怠惰等ニ由リテ空ク其時ヲ過ゴスベカラズ。人或ハ一瞬間ノ機會ヲ失ヒテ。畢生ノ時日ヲ損亡スルコアリ。少年寶

○思慮ハ深く精しくまべし。淺く粗くまべし。事ヲ爲スに之を深く思案を好みて。輕々しと早く決定さべし。思案ハ急つのに之を急ぐが

波

るをよしと云。早と決定をまべし。必何やゆり有り。大和俗訓

○我身の大事何ぞを思慮決し難きとある。又かほやけに申は事ある時を。皆思慮ある人に問ひ議す。其人の評論に従ふべし。我身の事ハ私欲ある故に。才ある人も心暗くををて。善惡の理見えがたし。我思慮する所十分によしと思へど。傍よに見まば惡き事多し。家道訓

○訟をバ俗にとじと云ふ。とじとを人と理非を争ふなり。凡初に於て證人を多く結び。證文を詳

らに取たき。初をよく慎めば。終に訟なき。初疎の
者なきべ。人よ里ふが事を言ひ掛らざる後には悔の
里。同上

○人ノ知識ハ失敗ヨリ學ビ得ル。勝利ヨリ學
ブヨリ多シ。人常ニ此事ハ是ニテ爲シ得ベシト
云ヘル方法ヲ發明スルハ。最初ニ是ニテハ爲シ
得ベカラザル者ヲ看出スヨリシテ此ニ進ムナ
リ。立志編

○偶然ノ事ハ。生平勉強シテ成就スル者ニ比ス
レバ。十ノ中ニ一モアラズ。是故ニ僥倖シテ其事

波

ヲ善クセント欲スルハ危キ道ナリ。勉強シテ心
ヲ用ユルコトハ。實ニ旅行スベキ平坦ノ通衢ナリ。
同上

○人タトヒ徳アリオアリ善行アリト雖氏。常ニ
疎漏脱略ナレバ。決シテ他人ニ信倚セラレズ。且
其爲ル所。何事ニテモ一度ニ完備スルコト能ハズ。
重ネテ又始ヨリ改メ爲サザルヲ得ズ。同上

○凡職事ヲ爲スニ。十分完備ノ功ハ。精細ニ非ザ
レバ得ベカラズ。一事ニテモ十分完美ニ做シ得
タランニハ。十事ヲ做シテ半上落下ナルニ勝ル

べし。同上

○若事ノ成就センコヲ望マバ。自ラ往テ之ヲ爲スベシ。モシ事ノ成就センコヲ望マサレバ。他人ニ吩咐スベシ。西國ノ古諺

○初起ノ見ヲ慎ムベシ。必急遽ニ判決スルコ勿カレ。事ハ似テ真ニ非ザル者アリ。似ズシテ真ナル者アリ。思ハザルベカラザルナリ。徳朗倍

○事務ニ應ズル才能ハ。真正婦人ノ具フベキ者ニシテ。善ク治マレル家ノ安寧康福ノ原素ナリ。凡一家ヲ治ムルニハ。規法ナカルベカラズ。精密

波

ナラザルベカラズ。逐層累次セザルベカラズ。勉強セザルベカラズ。儉節ナラザルベカラズ。計謀ナカルベカラズ。識見ナカルベカラズ。志向ニ副フ才能ナカルベカラズ。以上ノ物皆事務ヲ爲ス原素ナリ。品行論

○男子婦人性既ニ二種ナレバ。事各專屬アルベシ。男子ノ事ニシテ婦人亦做シ得ベキ者アリト雖。此特別ノ事ニ止マルノミ。一般通用ノ事ニ非ズ。モシ婦人ヲシテ其居室ノ生涯ヲ止メ。外出シテ他事ノ職務ニ入りタランニハ。人間社會ニ

凶禍ヲ生スベシ。同上

波

第七 家倫附師弟

○君君タリ。臣臣タリ。父父タリ。子子タリ。論語

○君令レ。臣共レ。父慈。子孝。兄愛。弟敬。夫和。妻柔。姑

慈。婦聽ナルハ禮ナリ。晏子

○君子ハ家ヲ出デズレテ教ヲ國ニ成ス。孝ハ君

ニ事フル所以ナリ。弟ハ長ニ事フル所以ナリ。慈

ハ衆ヲ使フ所以ナリ。大學

○道ハ邇キニ在リテ。而レテ諸ヲ遠キニ求ム。事

ハ易キニ在リテ。而レテ諸ヲ難キニ求ム。人々其

親ヲ親トシ。其長ヲ長トシテ天下平カナリ。孟子

○家ハ邦國ノ棟仁ナリ。家ニ在テ爲ル所ノモノ。外ニ發出シテ風俗ト爲リ。格言法語ト爲ル。故ニ一家ノ治法ハ。即邦國ノ治法ニシテ。其正邪純駁二致ナリ。特ニ大小ノ異ナルアルノミ。以上志總論

○夫孝ハ善ク人ノ志ヲ繼ギ。善ク人ノ事ヲ述ブル者ナリ。中庸

○身體髮膚之ヲ父母ニ受ク。敢テ毀ヒ傷ラザルハ孝ノ始ナリ。身ヲ立テ道ヲ行ヒ。名ヲ後世ニ揚ゲ。以テ父母ヲ顯ハスハ孝ノ終ナリ。孝經

○凡、人ノ子タルノ禮。冬ハ温ニシテ夏ハ清アリ。

放

タニ定メテ晨ニ省ミル。禮記

○子婦ノ孝ナル者敬ナル者ハ。父母舅姑ノ命。逆フコ勿カレ。怠ルコ勿カレ。同上

○孝子ノ老ヲ養フヤ。其心ヲ樂マシメ。其志ニ違ハズ。其耳目ヲ樂マシメ。其寢處ヲ安ンジ。其飲食ヲ以テ之ヲ忠養ス。曾子

○父母之ヲ愛スレバ喜ンゴ忘レズ。父母之ヲ惡マバ懼レテ怨ムコナシ。父母過アレバ諫メテ逆ハズ。同上

○爾小子宜ク父ノ訓ヲ聽クベシ。母ノ儀ヲ棄ツ

ル丁勿カレ。此ヲ以テ飾ト爲セバ。首ニ花冠ヲ戴クガ如ク。項ニ金索ヲ垂ル、ガ如シ言。瑣羅門ノ箴
○父母過アルトモ子ハ其意ニ逆フベカラズ。宜ク尊敬ノ意ヲ失フ丁ナク。徐カニ之ヲ諫ムベシ。
屋爾爺

○或人問フ。父母タル者ノ職分ハ如何ニ。答テ曰ク。兒子ノ身體ヲ健全ニ成長セシメ。天賜ノ良心良能ヲ發育セシメ。適當ナル生業ヲ選ビ與ヘ。造化ノ法則ヲ教ヘ。其法則ニ服従スル丁ノ肝要ナルヲ知ラシメ。自ラ服従ノ模範ヲ立テ、是ニ示ス

波

等ナリ。理學問答

○或人問フ。子タル者ノ職分ハ如何ニ。答テ曰ク。兒子ハ幼年ノ間ハ。其父母ヲ以テ最上權アリテ最大恩アル人ト爲シテ。之ヲ尊敬シ之ニ順従セザルベカラズ。凡、兒子ノ幼弱ノ間ハ。父母ノ慈愛ニ頼ラザレバ。其生命ヲ保續スル丁能ハズ。父母既ニ老ユル時ハ。又其子ノ扶助ヲ要スル丁アリ。故ニ子タル者成長ノ後ハ。父母ヨリ受ケタル所ノ慈愛ト親切トニ利息ヲ加ヘテ。父母ニ報酬セザルベカラズ。同上

○父母ハ已ガ職分ヲ行フ爲ニ其子ノ身體心思ヲ制御スルノ權アリ。然レ氏子既ニ成長シテ自一身ヲ養ヒ自心智ヲ研キ自脩身ノ責任ヲ決斷スルニ至ル片ハ父母ハ其職分ト威權トヲ解クベシ。此時ハ子ノ成人トナリタル時ニシテ國法ニテハ米國ノ二十一歳ニ滿ル時トス。然レドモ事實ニ於テハ或ハ之ヨリ早キ者アリ。遅キ者アリ。物蘭ノ修身學

○然レ氏父母ヲ愛シ父母ヲ敬スルノ責任ハ生涯存スル者ニシテ年ヲ歴ルニ隨ヒ寧増ス。ア

波

ルモ減ズルコナシ。是幼少ノ時父母撫育ノ恩ヲ報ジ。且任意剛愎ニシテ父母ヲ苦シメタル罪ヲ償フノ時ナリ。同上

○父母其職分ヲ欠ク時ハ子ハ不孝ヲ行フテ可ナリト思フベカラズ。縱令父母父母タラズト雖。子ノ之ヲ愛敬スルノ職分ハ天ノ確定スル所ニシテ父母ノ行狀ニ由リテ變換スベキモノニアラズ。同上

○父母ニ孝ヲ盡スト云フコトハ汝ガ身年長ジリトモ決シテ廢止スベキ者ニアラズ。歲月ノ進

行スルニ隨ヒ。小兒ハ長ジテ父母トナリ。父母ハ再小兒ト爲ル。幼年ノ時ニ汝ヲ抱キ腕ハ。今ハ反ツテ汝ガ壯健ナルカノ助ヲ要シ。汝ノ爲ニ勞作運動シタル手足ハ。今ハ汝ノ扶助ニ頼ラザルヲ得ザルニ至レリ。此時ニ當リ。善ク汝ガ愛敬入誠ヲ盡クシ。以テ往年撫育ノ大恩ヲ報ズベシ。若漫然ト經過シ。一旦父母此世ヲ去ルハ。其墳墓ニ向ヒテ永ク後悔ノ淚ヲ灑ゲトモ。竟ニ何ノ益カアラシ。哈氏ノ修身學

○親の子を慈愛するに。道藝を教へて子の才

波

徳を成就するを本とし。當坐の苦身をいたさず。子の願のゆゑに育てぬるを姑息の愛といふ。

翁問答

○孝行の條目數多ありといへども。畢竟ハ二箇條に約まき。第一にハ父母の心を安穩なるやうに處るあり。第二よを父母の身をよと敬ひ養ふあり。同上

○人其幼稚ノ時ハ。自踐行スベキノ方ヲ知ラズ。只其見聞スル所ニ習ヒ。父母ノ習慣ヲ得テ其常ト爲ス。故ニ父母ハ平生稚子ニ善ヲ爲スノ模範

ヲ示スベシ。勸善訓蒙

○父母ハ其子ヲ指令スルノ權ヲ有シ。且其子ノ爲有益ニシテ道理ニ合ヒタルコトヲ命ズル者ナリ。故ニ子タル者ハ。孝順ヲ盡シテ其教誨ヲ守ルベシ。同上

○父母過アレハ子慎ンデ之ヲ隱諱スベシ。必其醜ヲ外ニ露ハスコト勿カレ。同上

○父母卑賤ニシテ。我幸ニ高貴トナルコトヲ得ルトモ。父母ノ恩ヲ忘ル、コトナク之ヲ尊敬スベシ。モシ顯榮ノ身ト爲リ父母ノ恩ヲ忘ル、片ハ其

波

罪愈大ナリトス。同上

○人ハ其父母ヲ愛戴スベキノミナラズ。又其祖父母ヲモ愛敬スベシ。祖父母高年ニシテ衰病ニ罹ル片ハ。懇切ニ之ヲ看護スルコト。其父母ニ於ルガ如クスベシ。同上 ○以上
親子ノ道

○匹配ノ際ハ生民ノ始。萬福ノ源ナリ。婚姻ノ禮正フシテ。然シテ後品物遂ゲテ天命全シ。漢ノ匡

○夫婦ハ人倫ノ大綱。天壽ノ萌ナリ。世俗嫁娶太早ク。未父母タルノ道ヲ知ラズシテ子アリ。是ヲ以テ教化明カナラズシテ民多ク夫ス。漢ノ王吉

○或人問フ。婚姻ヲ爲スニ就テノ天則ハ如何ン。答テ曰ク。誰人ニテモ其身體ハ十分ニ成長シ。筋肉ハ堅實ナルノ後ニシテ。又其身健全ナルニ非ザレバ。婚姻ヲ行フベカラズ。年少ノ時ニ婚姻スレバ。爲ニ其身ノ健康ヲ傷リ。又ハ短矮尪弱ナル子ヲ生ミ。其子ハ尋常ノ生計ト交際トヲ爲ス。不能ハザル。丁アルベシ。然レモ又甚遅クシテ。其年齒人間一生ノ子午線ヲ過グルモ亦宜シカラザルナリ。理學問答

○或人問フ。人ノ夫タル者ノ職分ハ如何ン。答テ

放

曰ク。夫タル者ハ其身及其家族ヲ養フガ爲ニ。農工貿易又ハ其他ノ生業ヲ務メザルベカラズ。又一生中ノ數時間ヲ以テ。政府ノ命令ニ從ヒ。公役ヲ爲サザルベカラズ。同上

○或人問フ。人ノ婦タル者ノ職分ハ如何ン。答テ曰ク。一家ノ内事ニ注意シ。家中ノ費用ニ管係セル諸事ヲ整理シ。又男兒ニハ學問ノ初歩ヲ教ヘ。女兒ニハ學問ノ全部ヲ教ユベシ。同上

○夫婦相與ニ務ムベキノ道ハ。第一ハ親愛ニシテ。第二ハ信實ナリ。又雙方ノ職分ヲ分チテ言フ

片ハ。夫ノ職ハ管理スルニ在リテ。婦ノ職ハ從順
ナルニ在リ。弗氏ノ脩身學

○一男ニシテ數婦ニ配スルコトハ。造物者ノ法則
ニ反シ。人間ノ幸福ト社會ノ開明トヲ害スルノ
甚キ者ナリ 同上

○一男ヲ以テ一女ニ配スルコトハ。上帝ノ法則ニ
シテ。一家ノ真正ノ利益ハ。一夫一婦同居シテ生
活ヲ爲スヨリ生ズ。一國ノ利益モ亦一家ノ利益
ヨリ生スル者ナレハ。政府タル者ハ上帝ノ法則
ニ從ヒ。嚴ニ多娶ノ風ヲ除キ去ルコトヲ務ムベキ

ナリ。希氏ノ脩身學

○上帝ノ法則ニ於テ。親族中ノ最近キ者ノ婚姻
ヲ禁ズ。凡一家ノ系統ノ正系ハ。皆互ニ之ヲ禁ズ
ベクシテ。又父母ノ兄弟姉妹ト。我身ノ兄弟姉妹
トノ系統モ亦之ヲ禁ズベシ。同上

○夫婦ハ子孫ノ相續ク故にして人倫の始あり。
夫ハ外を治め婦ハ内を治む。夫ハ婦に禮儀正し
と。婦ハ夫に和順するべし。然るに馴親したる任
せ。敬と和とを失へば其道たゞ。婦人道に違え
ば。教へ正さざれば。怒るべからず。怒きば和を失ふ。

初學訓

○夫を敬ふとつゝも。たゞ頭をさげ手と垂まを
 我身を引さざるのみに非ず。第一の敬とつゝも。
 夫に恥辱を與へざるよ在り。さきバ只何とぞ一
 生涯夫に恥をうつさざるとい願を起し。歩々行住
 坐臥にさきを忘るはじまきなり。此心願にて。女の
 道の大うた不足なく齊ふものあり。前訓
 ○今の世を見るに。或ハ其妻に愛著し。常に惡
 行有るをも知らず。或ハ其妻にさせらる事なきに。
 多年の馴習を忘れてよしなく離別はるも有り。

何も古の法に違ひて。家の治まらざるといふ
 べし。六諭衍義大意

○人の妻たるものを。嫉妬の心努々起まべうら
 ば。夫もし不義過あらば。その色を和らげ聲を柔
 々にして諫むべし。諫め聽かざると怒らば。先暫
 く止めて後に夫の心和らぎたる時復諫むべし。
 必氣色を暴くとし聲をいらくげて夫に逆ひ叛と
 こととあるを女大學○以上夫婦ノ道

○兄弟ハ同胞の親しみ父母に次ぎたる天倫な
 り。三親の内父子夫婦よりも交り久しきハ兄弟

あり。其親久しきを樂むべし。兄の弟に愛深く。弟の兄に敬篤くまべし。兄の弟のしとを似せし愛を薄くまべし。弟の兄のしとを似せし愛を薄くまべし。各我道を盡まべし。兄の父に不敬あるべし。各我道を盡まべし。兄の父に次ぎを尊ぶべし。弟を父母の子なきが我子と同じと愛まべし。初學訓

○兄弟ハ同根ヨリ出タル數幹ノ如ク。數幹ヨリ出タル數枝ノ如ク。又其氣ノ連ルヲ宛モ十指ノ如クナレバ。相和シ相愛セズンバアルベカラズ。勸懲雜話

波

○汝ガ兄弟ハ同ジ母ノ胎内ヨリ出テ同ジ母ノ乳ヲ飲ミ。又同ジ父ノ兩腕ノ内ニ抱カレシ者ナリ。然ルニ汝モシ兄弟ヲ親愛セザレバ。世上ニ何者ヲ以テ親愛スベキ者トスルヤ。同上

○兄弟ト姉妹トハ。男女ノ性ヲ異ニスルヨリシテ。其間ニ少シク職分ノ狀ヲ異ニスルヲアレハ。其主意ニ至リテハ同一ナリ。則其ハ兄弟姉妹ハ互ニ憐愛シ相親厚ナルベシ。其二ハ相互ノ名譽幸福ニ能ク意ヲ注グベシ。其三ハ若意見ノ相接觸スルヲアルキハ。裁判ヲ父母ノ威權ニ委託

スベシ。其四ハ。總テ禮義ヲ壞ルベキ行為習慣ハ。務メテ之ヲ除キ去ルベシ。其五ハ。父母ノ家ヲ出テ別居スル後ト雖凡。兄弟姉妹ノ義務ヲ怠ルベカラズ。希氏ノ脩身學

○兄ハ年長ジテ弟ニ優レルニ由リ。能ク弟ヲ教訓シテ之ヲ保護スベク。苟且ニモ惡道ニ誘引スルヲ勿カレ。若弟ノ惡ヲ爲サントスル時ハ。兄ハ善行ノ規模ヲ示シ。カメテ之ヲ制スベシ。弟ハ父母ノ在ラザル時ハ。殊ニ兄ニ信隨シテ倚賴スベシ。勸善訓蒙

波

○伯叔父ト從子ト互ニ行フベキ務ハ。父母ノ務ニ比スレバ輕シト雖凡。其基ク所ハ猶相等シトス。同上

○其他族人ハ皆其祖先ヲ同ウシ。共ニ一家ヲ成ス者ナリ。故ニ互ニ相親愛シ。互ニ相保護シ。其家名ヲ損ゼズ。是ヲ子孫ニ傳フルヲ以テ其務ト爲スベシ。同上

○老者ハ之ヲ尊重スベシ。凡老者ノ能ク其生業ヲ成就シ。多少ノ辛苦ニ堪ヘ。能ク族人及國家ニ對スルノ務ヲ行ヒ以テ高年ニ及ビ。其身體衰弱

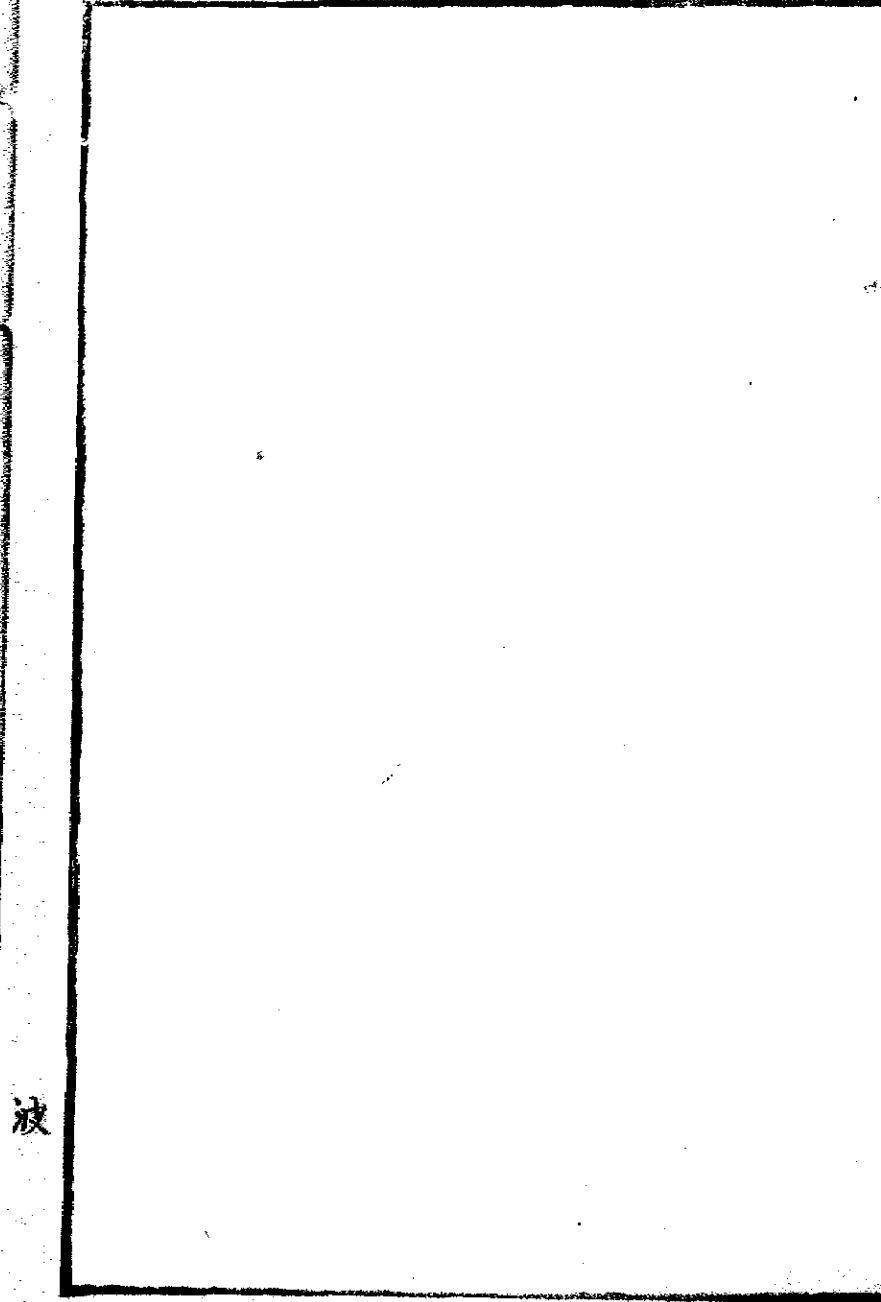
意シ。其庸弱貧困ナルヲ憐ミテ之ヲ恕シ。若其身
人ノ僕婢トナルキハ。自其主人ニ遇セララル、ヲ
欲スルガ如ク。亦其僕婢ヲ遇スベシ。殷氏ノ修身
學
○僕婢ハ其主人ノ權利ヲ保全スルヲ猶己ガ權
利ヲ保全スルガ如ク。主人ノ爲賣買勞動造築割
烹陪侍等ヲ爲スニ。常ニ節約ヲ主トシテ冗費ヲ
省キ。主人ノ資益ヲ思フ。其誠心ニ出テ。信實ニ
勤勞スベシ。同上

○僕婢タル者ノ職分ハ二アリ。一ハ從順ニレテ
二ハ信實ナリ。弗氏ノ修身學
以上主從ノ道

波

○凡家長ト爲リテハ必謹シテ禮法ヲ守リ。以テ
羣子弟及家衆ヲ御シ。之ニ分ツニ職ヲ以テシ。之
ニ授クルニ事ヲ以テシテ其成功ヲ責メ。財用ノ
節ヲ制シ。入ルヲ量リテ出ス。トヲ爲シ。家ノ有無
ニ稱ヒテ以テ上下ノ衣食及吉凶ノ費ヲ給ス。皆
品節アリテ均一ナラザルヲナク。冗費ヲ裁省シ
奢華ヲ禁止シ。常ニ稍贏餘ヲ存シ。以テ不虞ニ備
フベシ。司馬溫公居家雜儀
○家を興スモ子孫あり。家を破るモ子孫あり。子
孫に道を教へば子孫の繁昌を求むるハ足

なくくを行くことを願ふにむとし。翁問答〇以上
家長ノ道



波

第八 交際

○忠恕ハ道ヲ違ル_レ遠カラズ。諸_レラ已_レニ施シテ願ハザレバ。亦人ニ施ス_レ勿カレ。中庸

○賢ヲ見テハ齊シカラシ_レヲ思ヒ。不賢ヲ見テハ内ニ自省ルナリ。論語

○躬自厚フシテ薄ク人ヲ責ムレバ。怨ニ遠ザカル。同上

○君子ハ言ヲ以テ人ヲ舉ゲズ。人ヲ以テ言ヲ廢セズ。同上

○衆コレヲ惡ムモ必察セヨ。衆コレヲ好ミスル

ハ...

モ必察ヒヨ。同上

○或人曰ク。徳ヲ以テ怨ニ報イバ何如シ。孔子曰ク。何ヲ以テ徳ニ報イシ。直ヲ以テ怨ニ報イ。徳ヲ以テ徳ニ報イヨ。同上

○下ヲ用テ上ヲ敬フヲ。之ヲ貴キヲ貴ブト謂ヒ。上ヲ用テ下ヲ敬フヲ。之ヲ賢ヲ貴ブト謂フ。孟子

○或ハ心ヲ勞シ。或ハカヲ勞ス。心ヲ勞スル者ハ人ヲ治メ。カヲ勞スル者ハ人ニ治メラル。人ニ治メラル者ハ人ヲ食ヒ。人ヲ治ムル者ハ人ニ食ハル。天下ノ通義ナリ。同上

波

○人ヲ愛シテ親マズシバ其仁ニ反レ。人ヲ治メテ治マラズシバ其智ニ反レ。人ヲ禮シテ答ヘズシバ其敬ニ反レ。同上

○古靈ノ陳襄仙居ノ令ト爲リ。其民ヲ教ヘテ曰ク。吾民タル者ハ父義ニ母慈ニ。兄友ニ弟恭ニ。子孝ニ。夫婦恩アリ。男女別アリ。子弟學アリ。郷閭禮アリ。貧窮患難ハ親戚相救ヒ。婚姻死喪ハ隣保相助ケ。農業ヲ墮スコナク。盜賊ヲ爲スコナク。賭博ヲ學ブコナク。争訟ヲ好ムコナク。惡ヲ以テ善ヲ陵グコナク。富ヲ以テ貧ヲ吞ムコナク。行ク者ハ

路ヲ譲リ。耕ス者ハ畔ヲ譲リ。斑白ノ耆道路ニ負
戴セズンバ。則禮義ノ俗タラン。

○人ノ害ヲ爲サズ。人ノ財貨ヲ奪ハズ。人ノ品物
ヲ占領セズ。人ノ物ヲ毀損セズ。人ノ物ハ妄ニ之
ヲ撫弄セズ。人ヲ誅謗セズ。人ノ善ヲ稱シ人ノ德
ヲ敬スルニ。毫モ妬心ヲ懷カズ。總テ己ノ欲セザ
ル所ヲ人ニ施サズルハ。公義ヲ守ラントスル者
ノ必務ムベキ所ナリ。勸善訓蒙

○惡事ヲ爲サンコトヲ約スルハ不善ノ一ニシテ。
若其約ノ如ク之ヲ實際ニ行フ片ハ更ニ其不善

波

ヲ重ヌルノ理ナリ。故二人ハ正理ニ合ヒ。行ヒ得
ベキ事ノミ之ヲ約シ。其約ハ必誠實ニ之ヲ守ル
ベシ。同上

○人ヨリ托セラレタル密事ハ。妄ニ之ヲ洩スベ
カラズ。若之ヲ洩ス片ハ。其人ニ對シ信義ヲ破リ
タルト云フベシ。同上

○人ヨリ恩ヲ受ケタル時ハ。必之ニ報イザルベ
カラズ。猶人ヨリ金錢ヲ借リタル時ハ。必之ヲ返
還セザルベカラザルガ如シ。同上

○妬心ヲ以テ人ノ材能善徳ヲ賤シメ。又ハ人ノ

三

意志ヲ知ラズシテ其所行ヲ誅ルベカラズ。是又公義ヲ守ル者ノ宜シク謹ムベキ所ナリ。同上

○他人ノ所有物ニ損害ヲ加フルコトナキハ人ノ道ナリ。此理ヲ推ス片ハ。凡他人ニ屬スル家屋田野樹木等ハ。一切傷損スルコトナク。禾實ノ生ジタル土地ハ。妄ニ通行スルコトナク。墻屏ノ如何ニ矮疎ナルモノト雖也。其圍繞シタル地ニハ戒メテ入ルコト勿カレ。同上

○世に交するに言寡く。事をよく勉め。謙里を吾才に矜らば。人を敬ひて侮らば。人を誅らば。人情

波

を知りて人を怒らば。答めば。世變を知りて時宜に應じ。信義を堅く守りて約を變ぜば。身を潔くして貪慾の汗あし。此の如くをまば。過少とく。いづと。以ても人の惡と誅るべき様なし。大和俗訓

○世に接するに。和して流さざるを善しとす。和まざる人に背らば。流さざれば道を失はば。是世に接するよき程の中道あり。同上

○人まきに無禮ありとて。我恥辱にあらざることを答むべからば。人の無禮を宥め。恕して堪忍をまを。我心和平にして。樂を失はば。人に争をばし

無事あり。同上

○凡人の心の同じらざるは其面の如し。世間の人毎に各心替まる故に。爲さざるを我思ふ如くあらざるを人の心の有様此の如しと思ひ。我心に協たざるを人を尤むづらば。同上

○人に對しを物言ふに。我位と年との程を顧み。又對する人の位と年との品を知りて。其空に適ふを禮あり。もし未物を色ざる人に少しく人を敬ひ過らばを節に當らざるも大なる誤にあらば。我位より驕まるは。無禮にして大なる過ら

波

了。同上

○惡ニ報ユルニ惡ヲ以テスルコト勿カレ。凌辱ニ報ユルニ凌辱ヲ以テスルコト勿カレ。只善ヲ以テ惡ニ報イ。善ヲ以テ惡ニ勝ツコトヲ求ムベシ。勸懲雜話
○世間ノ人ハ盡恭敬スベシト雖氏。智アル者徳アル者ト。不善ナル者驕傲ナル者ト。同様ニ之ヲ恭敬スベキニ非ズ。併ナガラ縦ヒ不善ナル人ト雖氏。非禮ヲ以テ之ヲ取扱フベカラズ。天下ニハ一人モ非禮ヲ以テ取扱フベキノ人アルコトナシ。
希氏ノ修身學

○儀容ノ雅馴言辭ノ懇篤ハ唯人ノ意旨ニ乖忤セザルノミナラズ。能ク彼ヲレテ氣ヲ下レ心ヲ和ラゲ。且快安ノ意ヲ生ゼシムル者ナレバ。此二者ハ交際上ニ於テ貴重ナル徳ト稱スベシ。故ニ人タル者ハ必_ク此儀則ヲ履行シ。深ク夫辭ヲ以テ人ヲ誅毀シ。カヲ以テ人ヲ損傷スルガ如キ暴行ヲ戒ムベシ。撒氏ノ脩身學

○交際上ノ禮式ハ風俗國土ノ殊ナルニ隨ヒテ。各様ノ異アリ。雖_レ其社會ノ公論ニ於テ是ヨク道德事理ニ適スル者ナリト許スノ間ハ。吾輩

謹ニデ之ヲ遵守スベシ。同上

○仁惠ノ道ハ甚廣シト雖_レ。性命産業ヲ失ハントスル者。又ハ窮乏ナル者ヲ救助シ。惡人ノ爲ニ襲擊劫掠ニ逢フ者ヲ防護シ。老衰重病ニテ自生計ヲ立ツル能ハザル者ヲ賑恤シ。不幸ニ逢フ者ヲ慰安スル等ハ。其目ノ最大ナル者ナリ。勸善訓蒙
○富貴ノ者ハ貧賤ノ者ヲ恤シ恩ヲ施スベシ。財貨ヲ有セズト雖_レ。身體ノ壯強健康ナル者ハ。危難ニ逢フ者ヲ救ヒ。重荷ヲ負フ者ヲ助クルヲ得ベシ。是又仁惠ノ一ナリ。同上

○人ニ恩ヲ施スハ常ニ正理ニ基クベシ。善惡ノ差別ナク濫ニ人ニ恩ヲ施スベカラズ。惡人ニ恩ヲ施スキハ却テ其惡ヲ助クルコトアリ。同上

○人ニ恩ヲ施スト雖也。後ニ其報ヲ得ントスルノ念アル者ハ善ヲ行フニアラズ。惟恩ヲ交換スルノ故ニ之ヲ稱譽スルニ足ラストス。同上

○凡、都鄙を論ゼバ。同じ郷村に住居する人ハ。先祖以來常に行通ひ。互に又しく馴習ぬまば。其筋目尤忘るべからず。いのおまきバ今の世の人を。一旦の怒又も僅の愆によるまを。日頃の好を忘るべ

波

にや。或も田宅の界を争ひ。或も金銀の債ををたす。雙方怒を起し。遂にハ公事訴訟にも及び。一郷の騒ともなるハ。尤歎のしきとあり。六諭衍義大意

○さて郷里相交するの道をいも。常に歡び吊ひをのぐ。病煩ひを問ふを。定まらずなるま。いひおのづから。尤禮義を盡し。眞實の志を致まべし。水火盜賊不虞の難ならハ。互に合カシテ隨分救ひ援とべし。行迹の惡ま人をバ幾度も懇に諫むべし。賢徳ある人をバ敬ひ。學問ある人をバ親み。材藝ある人をバ譽め顯せし。無能ある人をバ教へ誘

びき。争に及ぶ者をば取扱ひ。憂に沈む人をば問慰め。孤兒寡婦老病不具ある人をば傷と憐み。困窮無力の人をば賑はし濟ふべし。同上

○凡、正直無罪ナル人ヲ誘惑シテ惡道ニ陥レ。以テ風俗ヲ壞亂スル者ハ、真ノ邪惡ト稱スベシ。或ハ言論著述ヲ以テ道德ヲ嘲笑シ。又ハ淫靡ノ圖書ヲ出版シテ。人ノ邪念ヲ發動セシムルガ如キハ皆是ナリ。或ハ其才ヲ譽ムル者アレ氏。此ノ如キ才ハ其世ヲ害スル丁反テ才ナキヨリ甚シ。故ニ年少者ハ男女ノ別ナク。殊ニ儆戒シテ此傷害

波

ヲ防クベキナリ。物氏ノ修身學○以上汎ク交際ノ道ヲ論ズ

○益者三友損者三友アリ。直ヲ友トシ。諒ヲ友トシ。多聞ヲ友トスルハ益ナリ。便辟ヲ友トシ。善柔ヲ友トシ。便佞ヲ友トスルハ損ナリ。論語

○子貢友ヲ問フ。孔子曰ク。忠告シテ善ク之ヲ道ク。不可ナレバ止ム。自辱ムル丁勿カレ。同上

○鐵ヲ以テ鐵ヲ治ムレバ交。相磨礪ス。益友モ亦是ノ如シ。瑣羅門ノ箴言

○善人ト同ジク處レバ日ニ善訓ヲ聞キ。惡人ニ從ヒ遊ベバ日ニ邪情ヲ生ズ。蓬麻ノ間ニ生スレ

バ。扶ケズレテ自直シ。白沙縞ニ入レバ。染メズレテ自黒シ。王充論衡

○人其朋友ニ益ヲ爲サントスルニハ。正直ノ道ヲ以テ之ヲ爲スベシ。又朋友ノ助ヲ得ントスルニモ。道德ノ教ニ背キタルトニ由リテ之ヲ假ルベカラズ。是レ人朋友ノ交ヲ厚フセントスルトモ。道德ノ法則ニ違フテ之ヲ爲スベカラサルニ由ルナリ。勸善訓業

○真友ハ吾身ノ爲ニ一ノ寶庫ナリ。此寶庫ハ滿籩ノ金アリトモ得難キ所ニシテ。飢寒布褐ノ士

波

ノ却テ得ル所ナリ。汝等之ヲ得ント欲セザルカ。若得ントヲ欲セバ。惠愛信義ヲ以テ人ト交ハラズンバアルベカラズ。勸懲雜話

○友だちの交りに心友面友の差別。情義の親疎さゆぐありといへども。畢竟皆信の道の本と成互の志同じと交り親むを心友といふ。志の違ひぬまども。筋目あるもの。或は同郷隣家。或は同官同職などこそ。常に相交り親むを面友といふ。一目知る人も面友の中あり。心友面友ともに情義の親疎同じうらむ。其ほどくの義理に随ひて威

儀恭しく。挨拶柔和にして偽なく。勿論約束あるもの少しも違變なきが。信の道の大體あり。○以上答
ヲ論ス

○人ノ此世ニ生ル、ヤ。獨己ノ爲ノニ非ズ。亦國ノ爲、家ノ爲、朋友ノ爲、衆庶ノ爲、ニ生レタル者ニシテ。就中國ハ最愛スベキ者ナリ。故ニ止ムヲ得ザルキハ國ノ爲、ニ其性命ヲ擲ツベシ。希臘ノ布

○兵無ケレバ國人ヲ護シテ外寇ヲ防グコト能ハズ。官吏無ケレバ國ヲ治メ法度ヲ行フコト能ハズ。

波

道路無ケレバ國中ノ往來ヲ便ナラシムルコト能ハズ。溝渠無ケレバ舟楫ノ利ヲ通ズルコト能ハズ。學校無ケレバ兒童ヲ教ユルコト能ハズ。然ルニ若士民租税ヲ政府ニ納メザレバ。何ヲ以テカ官ヨリシテ是等要用ノ諸件ヲ設クルコトヲ得ニヤ。是則租税ヲ納ムルハ。各士民ノ務タル所以ナリ。善勸

○人ハ其身位ノ尊卑ヲ問ハズ。己ノ國ヲ裨益スルコトヲ忘ルベカラズ。夫農夫商估工人ハ。國ノ物産ヲ増シテ國益ヲ爲シ。學士識者ハ衆庶ノ心智

ヲ啟キテ國益ヲ爲ス。猶兵士官吏ノ其職ヲ盡シテ國益ヲ爲スニ異ナルヲナレ。同上

○國民ノ政府ニ服従スルヲ表スルハ左ク如シ。曰ク法律ニ從フ。曰ク官吏ノ權ヲ奉ズル。曰ク官府ノ諸事諸物ヲ尊敬スル。曰ク官府ノ規則及其一時ノ命令ヲ守ル。以上ノ諸件ヲ能ク行フ者ハ則平靜安全ニシテ能ク其分ニ安ンジ。天法ヲ永遠ニ保守スルノ民ナリ。希氏ノ修身學
○國民ハ總テ政府ヨリ法律ニ據リテ命ジタル勞役ニ服事スベキニテ。或ハ官事或ハ軍事共

波

ニ國ノ爲ニ徵召サル、時ハ決シテ之ヲ否ムベカラズ。同上

○邦國ハ特ニ人民各自一個ノモノ、合併セル總名ナレバ。所謂開化文明ト云フ者ハ他ナシ。其國ノ人民男女老少各自ニ品行ヲ正クシ。職業ヲ務メ。藝事ヲ修メ善クスル者合集シテ。開化文明トナルヲナリ。立志編

○人民ノ品行ノ性質ハ何如ナルヲ優等ト爲スベキヤ。曰ク心思高尚。曰ク真實。曰ク忠直。曰ク有德。曰ク勇毅。人民ノ性質此ノ如クナレバ。其國爛

然トシテ光采アリ。他國ヨリ仰望ジテ尊敬セラ
 ルベシ。磐石ノ重キガ如ク。四方ヲ鎮壓スルノ威
 アルベシ。以上ニ言ヘル性質ノ外ニ要須ナル者
 ハ。曰ク敬慎。曰ク規則整齊。曰ク自能ク統治ス。曰
 ク心ヲ職分ニ盡ス。此等ノモノ人民ノ品行ヲ植
 ツルニ於テ亦少クベカラズ。若夫人民ノ或ハ專
 歡樂ニ耽リ。或ハ偏ニ嗜欲ヲ事トシ。是ヲ無上ノ
 尊ト爲シ。別ニ氣象ノ更ニ高キヲ有セザル者ハ。
 其國ノ陋劣ナルヲ曾テ野蠻ノ國ニダモ若カザ
 ルナリ。品行論

小學修身訓下終

波

社会

社会科

明治十三年十月十四日 翻刻御届
 全 年十一月出板

定價 十錢

大阪府下東區安土町

四丁目二拾八番地

翻刻人 鹿田静七